

特別講義

Media Archaeology of the Cyborg (サイボーグのメディア考古学)

日時：2019年 12/22(日)

13:00-14:00 エルキ・フータモ講演

(英語 要約解説：吉岡洋)

14:00-14:30 質疑応答

場所：京都大学稲盛財団記念館3階 中会議室

講師：Erkki Huhtamo

(カリフォルニア大学ロサンゼルス校教授)

司会・通訳：吉岡洋

申込方法：

件名に【Media Archaeology of the Cyborg
(サイボーグのメディア考古学)申込】と明記し、
必要事項を記入の上、ご送付ください。

宛先：kokoro-art1@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

①氏名（ふりがな）

②ご職業（ご所属）

③返信用ご連絡先（メールアドレス）

エルキ・フータモ (Erkki Huhtamo)

フィンランド生まれ。カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)デザイン | メディアアーツ学科およびフィルム・テレビジョン・デジタルメディア学科教授。メディアアートを含むメディア文化論全般の世界的権威、数々のメディアアート関連の展覧会のキュレーションも手がける。NTTインターコミュニケーション・センター(ICC)設立時にアドバイザーを務めるなど、日本との関係も深い。早稲田大学、京都大学、情報科学芸術大学院大学(IAMAS)など、日本国内でも定期的に講義を行なってきた。



「サイボーグ」は多くの場合、未来的・SF的なイメージを伴って想像されます。けれども現代の私たちの身体は、様々なテクノロジーと切り離しえない形で存在しており、すでに一種の「サイボーグ」と化しているとも言えます。この講義では、メディア考古学のパイオニアであるUCLAのエルキ・フータモ教授をお迎えし、機械と身体の関係、サイボーグ的なものをめぐる人間の想像力の系譜を、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。